

赤十字いわて

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

「もしもし、聞こえますか〜？」 ちいさな看護師さんが無線に挑戦！

体験をとおして赤十字の仕事、活動を知っていただく！
イオンモール盛岡で赤十字ふれあいフェスティバルを開催。



「17食博覧会・大阪」に遠野市赤十字奉仕団が参加しました



4月28日(金)～5月7日(日)の10日間、4年に一度の「17食博覧会・大阪」がインテックス大阪(大阪市住之江区)において開催され、日本赤十字社は災害時の食の確保の普及、赤十字の「災害からのちをまもる」活動を伝えるための取り組みとして、ブースを展開し、出展しました。

東北からは岩手・宮城・福島の3県が参加し、ご当地の炊き出しをふるまいつつ、東日本大震災の際の炊き出し活動や現状について伝え、炊き出しの重要性についてPRを行いました。岩手県からは遠野

市赤十字奉仕団が参加し、約350食の「ひつつみ」の炊き出しをおふるまいしました。

ステージ発表では、赤十字奉仕団岩手県支部委員長である増沢委員長が復興支援事業等の紹介等に加え、被災者から直接伺ったエピソードを紹介しました。その際には、来場者も真剣な表情で聞き入っており、被災地からの声を届けることができました。

来場者の方からは「おいしかったよ」といった声をかけていただき、岩手県における防災食のPRを含め、イベントは大成功をおさめました。



赤十字奉仕団トピックス

岩手県初！ 赤十字奉仕団中央委員会委員長に 増沢委員長(岩手県支部委員会)が就任！

岩手県内の奉仕団活動推進のため、活動方針や内容を決定する赤十字奉仕団岩手県支部委員会。その中心的役割を担う増沢委員長が各都道府県支部委員会委員長で構成される、赤十字奉仕団中央委員会委員長に選出されました。

東日本大震災被災地からの活動経験者として、その手腕が期待されています。



東日本大震災被災地での活動を経験した委員長として、経験を伝え・活かしていきたいと考えています。
私たちの力一つひとつは小さいかもしれませんが、いざという時に全国で協力しあうことができるように今のうちから備えていくことが大切です。
一緒に頑張りましょう！

■ 増沢純委員長 経歴

昭和63年	一関市大東赤十字奉仕団	入団
平成13年	一関市大東赤十字奉仕団 委員長	就任
平成21年	赤十字奉仕団岩手県支部委員会 委員長	就任

平成29年度 第1回評議員会を開催

▶6月7日(水) エスポワールいわて

八重樫副支部長(県保健福祉部長)をはじめ評議員21名が出席して開催されました。

日本赤十字社岩手県支部、盛岡赤十字病院、岩手県赤十字血液センター、日赤岩手乳児院、特別養護老人ホーム日赤鷲鳴荘の平成28年度事業報告と決算についてご審議をいただき、事業報告及び決算につきましては原案どおり承認されました。



東日本大震災から6年、赤十字が行う防災・減災への取り組み

「いのちを守るプログラム」のご案内

赤十字にご支援をいただいている自治会、町内会、学校、企業・団体さまは、原則無料で実施します。

日本赤十字社岩手県支部では、さまざまな講習と防災啓発プログラムを組み合わせた「いのちを守るプログラム」を実施しています。地域のイベント、町内会、企業、学校での研修会等で、皆さまのご要望に合わせた内容と時間で開催します。災害時に自らを守る「自助」、お互いを助け合う「共助」を学び、防災・減災への意識を高め、確かな備えができるよう知識と技術を皆さんと一緒に身に付けましょう。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

I 救急法 I-① 心肺蘇生とAED I-② のどに物が詰まったら I-③ けがの手当て I-④ 骨折やねんごの手当て I-⑤ けがをした人の搬送 I-⑥ 急病時の手当て	II 健康生活支援 II-① 高齢者に多い病気 II-② 高齢者に多い事故 II-③ 介護予防 II-④ 認知症の理解と対応 II-⑤ 癒しのリラクゼーション	III 幼児安全法 III-① 子どもについて III-② 子どもの事故と予防 III-③ 子どもの病気と看病 III-④ 子どもの心肺蘇生とAED III-⑤ 子どものどに物が詰まったら	IV 防災啓発プログラム IV-① 炊出し訓練 IV-② 災害図上訓練(DIG) IV-③ 過去の災害追体験(災害エスノグラフィー) IV-④ 防災セミナー(地震災害) IV-⑤ 防災セミナー(風水害)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ★ 町内会での防災講座 ⇒ IV-② 災害図上訓練(DIG) + I-⑤ けがをした人の搬送
- ★ 学校・PTA ⇒ I-① 心肺蘇生とAED + IV-⑤ 防災セミナー(風水害)
- ★ 一般企業等① ⇒ I-① 心肺蘇生とAED + IV-④ 防災セミナー(地震災害)
- ★ 一般企業等② ⇒ III-① 子どもについて + III-② 子どもの事故と予防
- ★ 福祉関連施設 ⇒ I-② のどに物が詰まったら + II-② 高齢者に多い事故
- ★ 幼稚園・保育園 ⇒ III-③ 子どもの病気と看病 + III-④ 子どもの心肺蘇生とAED

※短時間のプログラムをご希望される場合、各プログラムの性質上、ご要望のあった内容の組み合わせが出来ない場合があります。この場合はご相談のうえ対応いたします。

義援金・救援金

～心あたたまるご寄付をありがとうございます～

●平成28年台風第10号災害義援金(募集終了)●

受付件数	金額
635件	334,666,826円

ご協力ありがとうございました。

★現在みなさまにご協力をお願いしている義援金・海外救援金

義援金・救援金名	受付期間
東日本大震災義援金	平成30年3月31日(土)
平成28年熊本地震災害義援金	
中東人道危機救援金	

平成29年度 日本赤十字社岩手県支部 東日本大震災復興支援事業

日本赤十字社岩手県支部は、平成29年度も継続して「海外救援金」を活用した復興支援活動を行っています。

1	赤十字奉仕団等ふれあい交流会 (継続事業) ☆各赤十字奉仕団が随時実施	仮設住宅にお住いの方々に対して、各赤十字奉仕団が特色を活かした催しを企画。歌や踊りなどをおして交流を図ったり、あたたかいお食事を提供したりすることでより多くの住民に集まっていたき、コミュニケーションを持てる場を提供する。
2	ノルディックウォーキングとこころのケア (継続事業) ☆毎月8か所（一日に2か所ずつ）仮設住宅を訪問	病気やけがの予防を含めたこころと体の健康づくりを支援。 また、運動と併せて季節のイベント等（手芸、簡単に出来る体操）を行うことで、住民同士の交流を促進し、皆さんが抱えるストレスや健康不安などの軽減を図る。
3	盛岡赤十字病院職場体験 (継続事業) ☆8月8日（火）	将来、医師や看護師など医療従事者を目指す沿岸の中学生・高校生に実際の医療現場を体験してもらい職業観を育むこと、また、主体的に将来の進路選択ができるよう支援する。 併せて赤十字が行う事業・活動についても理解を深めてもらう。

